

---

# アメリカン part2

マイル

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

アメリカン part 2

### 【Nコード】

N4507F

### 【作者名】

マイル

### 【あらすじ】

「私」が苦しみから逃げて逃げて行く事、闇への転落etcです。

## 第二話

### 第二章

その後、私はジョンと話したが覚えていない。裏切られた気持ちで胸が一杯になり目の奥からジワリと涙が溢れてきたのは覚えている。もう何も考えられなかった。とにかくこの場所から離れたく、ベッドから立ち上がると、走って自分の寮に戻った。部屋のドアの前でルームメイトが居る事を思い出し、引き返す事にした。

夜の空は真っ暗で、それが救いでもあった。誰からも泣き崩れた私の顔を見られないだろう。

私はあてもなく外を歩き出した。歩きながらジョンとの事を思い返す、私が悪かったのかもしれないし、酷い事をしたのかもと、考えを巡らせた。再びすがすがしい風が私を冷静にさせてくれた。

いつのまにか涙も止り、胸の奥がスウーとする。キャンパスを包む闇が大きい事ってなんの。

体中に闇が入り込み、それと一体になると体中から力がみなぎってくる。

「ヘイ、サイコ！」

誰かが私を呼んだ。経済のクラスで一緒のウィリアムだ。

時折、パーティーで挨拶をするぐらいの仲だ。その声には不思議な要素があった気がした。

私は、てくてくとその声の元に歩いて行く。ウィリアムとマット、そしてタイランドが煙草を吸っていた。ウィリアムはサイコの顔を窺うと

「これいる？」

と、マリファナシユガレットを差し出してきた。

私はこのキャンパスでは沢山の人がこれを吸っている事を知っていた。

転落の道であると同時に解放の誘いでもある事を。

時々、図書館とかでたまに見かける、ずっと甲高い声でげらげらと笑い続けるグループがそれを使っている常習犯だ。私が図書館の片隅で試験勉強をしている時、彼らの言葉から「ドラッグ」という言葉が度々出る事からもなんとなく分かる。

私は改めてそのモノを見て、それを手に取った。

## 第二話（後書き）

アメリカン！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4507f/>

---

アメリカン part2

2010年12月14日20時50分発行